

(グリースガン)取扱説明書

このたびは当商品をお買上げ頂き誠にありがとうございます。
ご使用に際しましては取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い申し上げます。

ご使用の前に必ずエア抜きをしてください。

最高吐出圧力
700kg/cm²

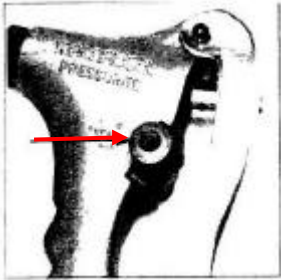


エア抜きの方法

数回ポンピングして、グリースをガンの方に送り込んでください。

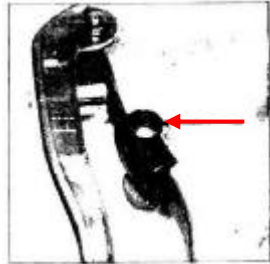
ガンレバーを右図のように数回にぎるとエアを抜くことができます。もし不十分なときは、1~2の作業を繰り返してください。

高圧にセットする場合



圧の強いニップルにグリースアップする時にご利用ください。レバーは軽く作動します。

高容量にセットする場合



オープンベアリングなど、圧が低くグリースを多く必要とする所にグリースアップする時に便利です。

サービスノート

	故障状態	原因	対策
A	カプラーからグリースが漏れる。	(a)出口ボール座の下にごみがつまっている。 (注:カプラー自体は良好である。) (b)止めねじがゆるんでおり、その為出口ボールが座から外れている。	(a)高容量に切換えハンドルを急激に強く押す。それでも濡れ場合は、エクステンション・チューブ、止めネジ、ばね、およびボール、バネを元通りに置いて、止めねじがバネにふれるまで(これは振ってみて、ボールがカタという音がするかどうかで調べる。)締めつける あまり多く回しすぎるとバネが強くなりすぎガン動作が鈍くなり、回し方が少ないとカプラーはまた漏れるようになる。それでも漏れが止まらない時は出口ボデー・アッセンブリーを交換。 出口本体を交換する時は念のためガンハンドルを締めた状態で行う。これにより座金30-リングはピストンにきちんと入れることができる。 (b)ハンドルピンを取りハンドルをはずす。そしてピストンをはずし、止めねじを固く締め直す。

	故障状態	原因	対策
B	高圧作動不良	(a)ピストンボールの下にゴミが詰っているか、またはピストン内部のボール座が破損している。 (b)止めねじがゆるんでいるか、ピストンからはずれている。	(a)高容量に切替え、ハンドルを強く押し、ゴミを座から取除く。それでもなお、漏れがあるときは、ハンドルピンを取り、ハンドルをはずす。ばねとボールをキレイにする。 (b)Aの (b)参照
C	高容量作動不良	(a)入口ボール座の下にゴミが詰っている。 (注 :これによって送られる量が減り、一方圧力は増加する) (b)プランジャーコントロールがコントロールボディにはまり込んでいる。	(a)コントロールボディを取り外し、弁座リング、ボール、及びバネをはずす。ボールを弁座をきれいにし、ばね、ボールリング、弁座、リング、及び座金の順に元通りにする。 (b)コントロールアッセンブリーを交換。
D	高容量側がグリースの出が悪く作動困難	(a)グリースのグレートが濃すぎる。 (b)バネの調整が不十分である	(a)グリースの調度を下げる (例えば #2 #1) (b)エクステンションチューブを出口本体からはずし、出口止めねじを左まわりに半回転まわす。ポンプを押し、最高圧で(ガンのボタンコントロールは高圧にし)出口本体の漏れを調べる。